

悲

願の初タイトルへ。サガン鳥栖の運営会社・サガン・ドリームスの竹原稔社長に昨季の結果や、今季の補強、チームや経営面での目標を聞いた。(インタビューは2月上旬、サガン鳥栖沖縄キャンプで行った)へ聞き手・本誌発行人 橋詰空

Q サガン鳥栖の最終成績は13勝8分13敗(勝ち点47)。3年ぶりの一桁順位となる8位となった。この成績をどう評価する?

8位という結果には満足していません。ホームで勝ってアウェイで負けたというところでは、まだまだチームとして未成熟な部分があったという結果だと思います。監督ともよく議論しますが、トップレベルになると、技術だけではないメンタルな部分が存在します。「アウェイで勝てる試合を落とすとして苦意意識を持つ」という悪循環に陥ったのかもしれないですね。

今年はJ1昇格してから初めてレギュラー全員を残しながら、新シーズンを迎えることができました。そういう意味では新シーズンにつながる意味ある8位にできていると思っています。

Q ホーム戦の累計入場者数は24万1295人、1試合平均入場者は1万4194人でも過去最高。その要因とさらに増やすために取り組むことは?

特別に何かをしたから、というよりも今まで取り組んだことの延長線上で達成したと考えています。大幅に増えた訳ではないので、喜びすぎてはいけません。今後はこれまでサッカーを見たことがないという人に興味を持ってもらえるような、魅力あるスタジアムをどう作るのか、が課題です。チームを強くすることよりも難しいと思っています。

今年にはW杯があったり日程が非常に厳しい1年となります。2月23日の開幕から7月のW杯期間中まで15試合、大きな中断がなく続きます。平日開催も多いので、集客については難しい1年になると思います。だからこそ、これまで好評だった「記念ユニホーム」ゲームを3試合予定しているほか、より面白い企画を考えていきます。

Q 昨季はサガンU-15が二冠を達成。ユース出身の田川亨介選手が活躍するなど、育成が大きな結果を出した。

本物を体験する機会を作ったことが大きかったと思います。ヨーロッパ遠征の経験が成長につながりました。九州ではある程度勝っていましたが、世界に出たら全然勝てない。圧倒された経験が糧になりました。3、4年後にはユース出身選手3、4人がトップの試合に出場しているチーム作りを目指します。それが経営を安定させることにつながりますし、小さな街のサッカークラブが生き残るにはその方法しかないと思っています。



ITADAKI 特集 月刊 MOTEMOTE さがん 特別号

「頂」へ。2018開幕!!



サガン鳥栖の2018年シーズンがいよいよ開幕する。「頂」をスロージーンズは主力がほぼ残留。注目の若手も加わり「頂点」への期待もこれまで以上に大きい。J1初の金曜日開催となる開幕戦は2月23日20時から、元ドイツ代表のスーパーstar・ポドルスキ選手を擁する神戸と対戦する。さらに進化したサガンの姿をベアスタで体感しよう!!

開幕戦 サガンらしく挑戦

サガン・ドリームス 竹原稔 社長に聞く



クラブ全体としては、今回、オランダの名門アヤックスと提携しました。アヤックスのサッカーをするわけではなく、アヤックスの育成スタイルの優れている部分を学びたいと思っています。これまでのアトレティコ・マドリッドやユベントスと同様、良い部分を吸収して「サガン鳥栖スタイル」を作り上げていきます。

Q シーズンの補強の手応えは?

理想には向かっています。補強に関しては、みんなが良い選手と選んでいる選手を獲得することを主眼に置いていません。適材適所と将来像を考えながら検討しています。もちろん、タイトルを獲得、「頂」を目指す補強も考えています。今季はスタートしたら15試合あつという間に終わってしまうイメージです。始まるとなかなか補強は考えられませんが、今の選手を信じながら、足りない部分を補う選手を探すということを常にやっています。

Q 開幕戦はJ史上初となる金曜日開催。そのメリットと、意気込みを教えてください。

J1リーグ初の試みなので、メリットはやってみたいと分かりません。でも、サガンが2018年シーズンの初陣を飾るというのは私たちのチームらしいチャレンジだと思います。待ち構えるというよりも挑戦することが私たちが成長させたと思っていますし、唯一の開幕戦を「頂いた」ということで、今年のスロージーンズに合った行動だったと言えます。平日なので予定がつかない人がいたり、20時間開催だから子どもさんの問題があったりしますが、新しい試みをしていく、変化を求めていくというスタイルがサガンらしいと思っています。

Q 今季は長崎が初昇格。九州全体で盛り上げるのか。

九州で近いというのはすごく嬉しいこと。一緒に盛り上げていこうと考えています。ルヴァン杯でも同組なので何度も戦うことになりそうです。今年は過密日程なので、アウェイ移動が楽なチームが1つでもあると本当に助かります。もちろん先輩として負けられない試合です。サポーターにそういう姿を見せられたら一番盛り上がるのではないのでしょうか。

Q 最後に佐賀市民へメッセージを!!

県都である佐賀市のみならず、九州全体でも応援してもらっていることを誇りに思っています。サガンが佐賀県全体を盛り上げる存在になるよう頑張ります。田川選手など、ユースの拠点・佐賀市で育った選手が活躍しています。数年後には佐賀市育ちの選手たちがチームの柱になっていることを期待しています。

2月23日の開幕戦では、伴田来未さんに国家斉唱をお願いしています。また「頂」デザインのブランケットを来場者全員にプレゼントします。MOTEMOTEさがんを読んで、ぜひベアスタに足を運んでください!!





選手の成長に注目を!!



Q 昨季を振り返って、チームとして達成できたこと、物足りなかったことは?

昨季はシーズン開始時にはキム・ミヌ選手(現・水原三星)と林彰洋選手(現・FC東京)が、途中で鎌田大地選手が移籍しました。前季に主力として活躍した3選手が抜けたというチーム状況でした。その中で、結果としては年間11位から8位に順位を上げることができました。もともと苦しいシーズンになっておもしろくない状況だったのかな、という認識から始まって、それでもしっかりと順位を上げたというところは評価して良いと思います。ただ残り7、8試合で残留がほぼ見えてきたところから、もうちょっと欲張るという気持ちで昨シーズンは足りなかったかな、と思います。最後まで一つでも上へ、という気持ちを出すことができなかったことが反省点です。

Q 昨シーズンのホーム11勝はリーグ3位タイ。対してアウェイはわずか2勝に終わった。アウェイで勝てなかった原因をどう捉えているか?

1年トータルで振り返ったとき、アウェイとホームの勝ち方の違い以外にも、もったいなくてたんじやないか、という要素はたくさんあると思います。ただ去年のシーズンとまとめると、それだけで去年のシーズンとまとめると、それはできません。もちろん実際に選手の一つ一つのプレーを細かく見ながら、ホームとアウェイの戦いの違いを分析しています。最後の7、8試合でもっと勝点を取れたんじゃないか、というところで、特にアウェイでの戦い方でもうちょっと積極的なプレーができたのではないかと思います。私の課題としてちゃんと取り組んでいきます。

将来に向けて補強

Q 今シーズンの補強についてどう評価するか?

マッシモ監督に聞く

チームとしては勝つために強くするという取り組みとともに、クラブのプロジェクトとしては、強さを継続するという将来性を持ったチームにしたいと考えています。高橋祐治選手、安在和樹選手、伊藤遼哉選手の獲得は、彼らの成長でチームが強くなり、若返りを図ることがクラブの狙いであり、それにかかった補強です。

逆に高橋秀人選手はFC東京や神戸という勝利へのプレッシャーの強いチームに在籍していました。FC東京では一緒にやっています、私のやり方は分かっている。サガンがもつと勝つと勝つチームになっていかなければいけない、というときに彼の経験がチームをさらに進むべき方向に引っ張ってくれと期待しています。

Q マッシモ体制3年目。主力残留と補強で昨季より期待できそうか? 今季目指すサッカーは?

世界中のサッカーファンが前季よりも良い成績を期待していると思います(笑)。だからファンにもっと楽しんでほしいというところ、常にこころとしてはそういう気持ちで臨んでいます。2年間を振り返ると、リーグ上位の選手を獲得できてそれに合わせて結果を出してきたのではなく、元々の選手がすごく成長した上でレギュラーになってリーグ戦でも順位を上げてきました。選手はこれから更に伸び続けます。サポーターのみなさんには、今のメンバーの成長とともに、チームもどんどん膨らんでいくんだという、視点でサガンを見守ってほしいです。

Q 今シーズンのチームの目標順位は?

優勝を目指しているという目標はいいのですが、そのポジションを狙うことは甘いものではないと思います。このチームの選手は無数の可能性が向かっています。成長してどんどん良い方向にチームが向かっている、ということに意識を集中させて取り組むのが私の仕事だと思っています。その成長のスピードをどんどん速くすることができれば、より上に近づく時期も早く来ます。まずは今年も確実にチームを成長させるという

ことを念頭に置いて取り組みたいと考えているので、具体的な順位というよりは、本当に確実にチームを成長させることに自信を持って取り組みます。結果は他チームが関わることもありますが、具体的な目標順位はありません。

Q サガンのサッカーで注目してほしいポイントは何? 今年のサガンの変更点は?

選手の成長に注目してほしいです。1年を通じて同じチームの選手同士で対戦する中で、もちろんサッカーならではの運にも左右されますが、そうじゃなくてどんどん強くなっていく。シーズンの中で強くなっていくサガンの姿に注目してください。

日本では、システムが変わるとサッカーが変わったと言われることがありますが、サッカーはそういうものではないと思います。システムは試合状況によって選手のコンディションの問題で変わります。逆にチームとサッカーに取り組みするセプトだったり、どういうメンタルでサッカーをやるかというところは変わらないし、監督としてのこだわりも変えられません。

Q Jリーグや海外リーグを含めて、現在、一番評価しているチームとその理由を教えてください。

範囲を世界に広げると、本当にいっぱい良いチームがあります(笑)。Jリーグも去年から大きく変わろうとしています。上位チームは翌シーズン以降、DAZNマネー(巨額の配信収入)の配分により、資金面でもより豊かな状態で取り組めるようになりました。その中で川崎が初優勝しました。リーグが今後どう変わっていくのか、どのチームが抜けていくのか、というところが今シーズン注目すべきところだと思います。

できれば温泉に…

Q 短いオフだったと思います。サッカー以外

外の時間をどう過ごしますか?

去年同様、時間はないです(笑)。今年のJリーグはスケジュールがキツキツになったことでもあるので常に次の試合を考えなくてはならない暮らしが待っているのかな。今はキャンプ中なので、ある程度時間通りに動いているので、自由時間が少しあります。今日も周りのスタッフと、歴史があったり、逆に今、世界がどうなっているのかという話をしました。今の時代に影響されるところが変わるというのではなく、どういふ風に世界が成り立っているのかという情報を常に頭に入れるようにしています。

本日にうまうま1日だった半日の時間をとれるタイミンがさあれば温泉に行ったりラックスしたいと考えています。日本の温泉地が好きで、佐賀県内だけではなく、九州各地の温泉に行ったりすることがあります。

Q 昨年「イタリアより日本の方が居心地が良く感じていて驚いている」とおっしゃいましたが、今もそう感じているか?

全くそのまます。逆にイタリアについて見直すと、本当に素晴らしい国だと思います。もちろん時代時代で経済的な状況だったり、国の状況だったり、そうではない部分ももちろん存在します。その中でもイタリアは本当に美しい国だし、良いところを挙げたらキリがない。そんなイタリア人の私がそれでも日本が好きということは、そうとう日本が素晴らしい国である、ということですね。イタリアが素晴らしいと感じることで、自分の心の中で日本の存在を強く思っていることが分かります。

Q 恒例ですが、なにかスクープを教えてください!

うーん…。特別な大きな秘密があるわけでもないです。仕事のシークレットは言えないし…。自分が今までそういうアイデアがなかったという意味で、秘密とはちょっと違うんですけど、日本のサッカー界には、どのチームが優勝してもおかしくないくらい差があります。海外ではビッグクラブのどれかが優勝するというのが当たり前というくらい格差があります。Jリーグで仕事を5年目になりますが、どのチームも一試合一試

合に対してのエネルギーというか、その瞬間、その日程で注いでいるものを全部出すというメンタルが存在している、シーズンのどの時期でも簡単な試合というのは存在しません。練習一つにしても「その日のベストを尽くす」というのはプロとして当然」というのを言葉だけじゃなくて、日本人は本当にそれをしっかりとやる。真面目な国民というイメージはありますが、サッカーに関しては、それをしっかりとやる。そうすることでサッカーというスポーツもまだまだこんなにグラウンドの中で選手たちが表現できるものがあるんだな、と感じていました。もちろん海外、特にイタリアでの経験を踏まえてサッカーに関する知識というものを全部知り尽くしていると思っていまして、日本人のサッカーへの取り組み方を見て、ヨーロッパにもっとそういう部分を持ち込めたら、サッカーに良い影響を与えられるのではないかと、日本で暮らして、実際に仕事をしてみても、日本に対して魅力と可能性を感じています。

Q 最後に佐賀市民へメッセージを!!

サガンを支えて頂きたい、いつもそばにいて頂きたい、というメッセージを伝えて来た中で、昨シーズンは、過去最高の来場者数が達成されました。成長していくチームに合わせ、追いかけてくださる、周りを支えてくれる人たちが膨らんでいる、ということは、クラブの理想である「ともに成長する」ことが証明されました。私がファンの方にお願したい姿を、逆にファンの方たちが示してくれました。

今季は若い選手もいますので、今までと違った、これまでの試合では得られなかった感動というものが、「こういうプレーが見られるとは思わなかった」という感動を、これまで以上にみなさんに届けることができるでしょう。そういう機会が増えれば「より試合を見に行きたい」という気持ちになるでしょうし、選手たちも「もっと頑張ろう」となります。そういう良い関係が今、このチームにはあります。それをさらに大きくすることができるよう、選手たちは引き続き全力でピッチでいろんな楽しい瞬間を届けられるよう、練習から取り組みます。またベアスタでお待ちしています!!

吉田・高橋 秀人選手に聞く

後方からチーム支える

吉田 豊選手



吉田 豊選手
 ポジション：DF
 生年月日：1990年2月17日(28歳)
 身長/体重：168cm / 69kg
 出身地：静岡県
 代表歴：2007年 U-17 日本代表 / 2012年 U-23 日本代表
 経歴：富士根南 SSS → リベルダージュ FC → 静岡学園高 → ヴァンフォーレ甲府 → 清水エスパルス → サガン鳥栖



©SAGAN DREAMS CO.LTD.

Q キャプテンに任命されたときに感じたこととは？ また変化はあったか？
 練習の後、監督に呼び出されて伝えられた。キャプテンだということを感じて。光栄なことなので、いろいろ考えましたが、率直に「頑張ります」という感じで受け止めた。去年の夏過ぎぐらいいからゲームでキャプテン。去年の夏機会があったので、あまり抵抗はありませんでした。そんなにやることはないかな、という感じだったので、実際に今年改めてキャプテンになって、チームを代表して話をすることが増えました。基本的にチームをまとめることは、僕より経験のある選手が多いですし、ピッチで僕よりしゃべる選手も多いので、そこは自分という感じは特にはないです。ディフェンダーなので、後ろからチームを支えるということに意識しながら、昨季と変わらずにやっていたらいいかなと思っています。

Q 恒例の沖縄キャンプ、今年は約3週間と長丁場になった。
 まだ1週間くらいですが、例年どおりで変わらない感じですが、ただ今年のキャンプは約3週間と長いので、チームが一つになれるように一緒に生活するというところの環境を整えてもらったので、そこはしっかりこの時間を生活して、いろんなコミュニケーションを取りながら、有意義な時間にしてほしいです。

Q 鳥栖でもトレーニングは出来るのに沖縄で鳥栖の監督や社長がチームを強くするための最善の策を出してくれただけで感じています。こういう提案を受けて下さったホテルのみなさんを含め、すべての人が協力してくれています。家族に会えない時間が長くなっていくと、優勝には手が届かないと思うので、しっかりとこの時間を大切にやっていきたいと思っています。

Q ペアスタやサポーターの印象は？
 チームに加入する前は、ペアスタではやりにくい雰囲気を感じていました。入団してからは後ろから背中を押されるというか、サポーターが温かくて、本当に必死に応援してくれるというのを背中から感じるというのが率直な感想です。これまで他に2チーム在籍して、それぞれ

Q 目標にしている選手は？
 昔ならロベルト・カルロス選手です。小さくてもオーバーラップして良いクロスを上げて、強烈なシュートもある。そういうところが大好きでした。今はレオナルド・マドリドの左サイドバック、マルセロ選手です。もちろん攻撃的テクニックもすごいですが、頭を使ったプレーが印象に残っています。ブラジルが好きというわけはありません(笑)。

Q 佐賀について知っていることは？
 衝撃的だったのは、呼子のイカが透明すぎたこと！あれは驚きました。あとは唐津くんちです。初めての体験だったんですが、地元のご家庭に招いていただいた、いろんな人がやってきて宴会をしていました。本当にお互いがリスベクトし合わないとできないことです。歴史も感じて、良い経験ができました。

高橋 秀人選手

ポジション：MF
 生年月日：1987年10月17日(30歳)
 身長/体重：184cm/75kg
 出身地：群馬県
 代表歴：2007年 全日本大学選抜 / 2008年 全日本大学選抜 / 2009年 全日本大学選抜 / 2009年 ユニバーシアード日本代表 (第25回ユニバーシアードベオグラード大会3位) / 2012年 日本代表 (FIFAワールドカップブラジル2014アジア最終予選 出場) / 2013年 日本代表 (EAFF東アジアカップ2013 優勝)
 経歴：伊勢崎 SFC イレブン → 関南 SC Jr ユース → 前橋商高 → 東京学芸大 → FC東京 → ヴェルディ神戸



©SAGAN DREAMS CO.LTD.



©SAGAN DREAMS CO.LTD.

勝利に貢献 ともに喜ぶ

高橋秀人選手

Q サガンのサッカーの印象は？
 全員がまとまって90分間最後まで走りきって、チームワークが良いチームという印象でした。入団後もそのイメージは変わりません。練習から120%の力を出す選手が多いです。試合に向けて調整、という感じではなくて、自分のすべてを出し切っている感じを受けました。

Q ペアスタやサポーターの印象は？
 アウエイとして乗り込んだときに、後半になればなほとサポーターの声とサガンの選手がそれに呼応してより自分たちへのプレッシャーを与えようという独特のホーム感があるな、と感じていました。

Q これまでのキャンプの感想は？
 走りのメニューがキツすぎて……。この取材も早く終わらせて休みたいです(笑)。

Q サポーターに注目してほしいのは、というフレーズ？
 チームのために闘っている姿を見てほしいです。僕を見てほしいというよりは、みなさんと勝利を一緒に喜んで、どんちゃん騒ぎをしたい、という思いで鳥栖に来ました。みんなの喜ぶ顔が見れば、サッカー選手とてまた頑張れるモチベーションというかエネルギーになります。

Q 以前のチームでマッシモ監督と仕事をしていたが、そのときの印象を教えてください。またサガンで再会して、監督に変化はあったか？
 いまも変わりません。あのままといいか、監督として選手のせいには絶対にしない人です。

Q 敗戦の責任は背負うという意味で監督らしい感じですか。戦術が多様なことも特長です。練習のときはそんなに分からないんですけど、試合の状況とか時間帯でフォーメーションを変えたいとか、そういう部分があります。それに対応するのは大変ですが、あまり言い訳せずに監督の意図通りにするだけです。

Q 佐賀について知っていることは？
 まだ家も決まっていなくて、佐賀といえば芸人さんが歌っていたりとか、そういう印象があります。美味いものも知らないんですけど、まだこれからですね。食べ物と温泉にはうらやまなので、いろいろ教えてほしいです。パワースポットとか興味あります。

Q 温泉も古湯、武雄、嬉野といっぱいありますよ！
 それちょっと教えてください！ モデルで使ってもらっても良いので誌面で取材させてください！ イベントでも良いので、食レポとか温泉レポとかちょっとやってみたいですね。佐賀の魅力が伝わるという目的で!!!

Q サッカー選手の中ではトップクラスというか、一番と言って良いくらい料理の腕には自信があります。野菜や果物、肉、魚とか、佐賀の美味しいもので料理してみたいので、食材の差し入れを待っています!!

Q 最後に佐賀市民へメッセージを!!
 ペアスタの一体感はJリーグでもトップクラスなので来て頂ければ、その楽しさとか高揚感、わくわく感が伝わると思います。来たことがない方は1回、僕に騙されたと思って足を運んでみてください。もし楽しくなったら広報担当者が責任を取ります(笑)

Q 目標にしている選手は？
 日本人だと阿部勇樹選手とか鈴木啓太さんみたいな選手になりたいな、とか思っていました。最近川崎が優勝したので中村憲剛選手とか、プレーだけでなくチームのシンボル選手とか、そういう選手から刺激をもらうことは多いです。今年W杯イヤーです。代表経験者として「想いを伝えてください」。

Q 今年W杯イヤーです。代表経験者として「想いを伝えてください」。
 サッカーをする人以外の国民の注目が増すイベントなので、サガン文化が根付く良いきっかけの1年になると思います。選手もそこに目標を持ってプレーしている選手も多いので、自ずといろいろな刺激を受けたり、そういう切磋琢磨の中で、より自分のプレーとパフォーマンスも上がるし、当然、結果に対しては厳しく見られるし、そういう密度の濃くなる1年になると思います。

鉄・非鉄金属

区分(円/kg)	メーカー規格サイズ	ギ口チン材(▲1.0)
特A	31.2円	30.2円
特級	30.7円	29.7円
一級	30.2円	29.2円
二級	28.5円	

個人のお客様も大歓迎!!

非鉄金属買取品目

項目	(単価/kg)
上銅(ピカ線)	400円
銅(込銅)	310円
真鍮(込真鍮)	175円
被覆線(歩留り42%)	120円
ステンレス	80円
給湯器(赤釜)	90円
業務用エアコン	40円
バッテリー	50円
モーター	28円

アルミ買取価格

区分(円/kg)	100kg以上	100kg未満
アルミホイール	140円	
アルミサッシ(付物なし)	125円	110円
アルミサッシ(付物あり)	110円	95円
アルミ缶プレス	95円	80円
アルミ缶バラ	75円	60円
アルミホイール付タイヤ(1本)	1,400円	700円

※家電リサイクル法対象商品は取り扱えません。※少量持ち込みの場合は単価設定が異なります。

廃自動車 持込買取

4,000cc 以上	49,000円	1,500cc 以上 2,000cc 未満	33,000円
3,000cc 以上 4,000cc 未満	45,000円	1,000cc 以上 1,500cc 未満	23,000円
2,000cc 以上 3,000cc 未満	41,000円	軽 660cc	20,000円

※表示価格は欠品、ゴミなしリサイクル券付きアルミホイール車のお持込み金額。(引取りも致しますが、価格設定が別になっております。)

(平成30年2月18日現在)※市場の変動などにより、価格を変更場合があります。あらかじめご了承ください。

廃タイヤ 処分します

処分料 普通車・軽自動車

100円 (1本)

重量処分料(概別) 12円(kg)

※受入できるのは 乗用車、軽トラックのタイヤのみです。

アルミホイール付タイヤ(1本) 買い取り

15インチ以上	1,400円
15インチ未満	700円

地球資源の有効活用に貢献 江口金属株式会社

EGUCHI

■本社工場	佐賀県杵島郡白石町築切4023-5	☎(0952)84-5587
■鳥栖工場	佐賀県三養基郡みやき町原古賀5207	☎(0942)94-5450
■武雄工場	佐賀県武雄市北方町大崎1341-1	☎(0954)20-3190

(アルミ溶解・合金)

■広川工場	福岡県八女郡広川町新代1332-73	☎(0943)32-5722
■タイヤ破碎工場	福岡県八女郡広川町新代1389-115	☎(0943)32-5754

一営業品目一

製鋼原料、非鉄金属、自動車解体、中古車部品・リビルト部品販売、アルミ溶解・合金、廃タイヤ破碎、銅線ナゲット加工、貿易全般各種買入、産業廃棄物収集運搬、一般廃棄物収集運搬、建造物解体、再生資源リサイクル全般

持込歓迎・即現金支払

佐賀工場

佐賀県佐賀市巨勢町牛島228-22

☎(0952)20-3311

巨勢町 東部環状線沿い

ISO14001 審査登録